

3rd Mark of a Healthy Church – Conversion and Evangelism 健康な教会の3つ目の印(マーク)：回心と伝道 Matthew 28:18-20

皆さん、マタイによる福音書 28 章 19～20 節をお開きください。今年はヘブル書の説教に加えて、月に一度、「健全な教会の九つのしるし」というシリーズも行っていきます。これらのしるしについては以前にもお話ししましたが、皆さんに思い出していただくために改めて言いますと、私たちはすでに、健全で聖書的な教会に欠かせない最初の二つのしるしについて見てきました。その二つとは、講解説教と福音の教理です。この二つの重要なしるしに続いて、そこから自然に生まれてくる残り七つのしるしがあります。たとえ現時点ではそれらがまだ十分に備わっていなかったとしても、この二つがしっかりしていれば、やがて育っていくものです。そのしるしとは、回心と伝道についての聖書的理解、教会員制度についての聖書的理解、聖書的な教会戒規、聖書的な弟子訓練と霊的成長、聖書的な教会のリーダーシップ、祈りについての聖書的理解と実践、そして宣教についての聖書的理解と実践です。今日はマタイによる福音書 28 章 19～20 節に書かれている健全な教会の第三のしるしである「回心と伝道についての聖書的理解」について見ていきたいと思えます。さて、「なぜ福音の教理とは別に、“回心と伝道についての聖書的理解”を、健全な教会の一つのしるしとして取り上げる必要があるのだろうか」と思われる方もいるかもしれません。「福音を正しく語るだけでは十分ではないのか」と。もちろん、福音を正しく語ることは非常に大切ですし、それは健全な教理と聖書の教えの中心でもあります。しかし教会は、正統的な教理を語っていたとしても、「真に回心するとはどういうことか」について人々を混乱させてしまうことがあります。また、回心と伝道を結びつけて考えることは適切ですが、この二つは同じものではありません。回心とは、神が罪人を救うためになさる御業であり、伝道とは、神が回心へと導くために用いられる福音を、クリスチャンが宣べ伝えることなのです。

今朝の聖書箇所、マタイによる福音書 28 章 18～20 節には、回心と伝道の両面が示されています。それでは、この二つの重要性について説教を始めるにあたり、この箇所を見てください。イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。19 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」私たちは通常、この箇所——いわゆる「大宣教命令」——を伝道の観点からのみ理解しがちです。しかし実際には、ここには回心という概念も含まれています。ただし、その意味を正しく理解する必要があります。「回心」とは何でしょうか。私は 9Marks による次のシンプルな定義を気に入っています。「回心とは、人の人生における U ターンである。すなわち、人格全体をもって罪から離れ、救いのためにキリストへと向きを変えることである。」この箇所に回心を見ることができるのは、私たちが回心を通して弟子となるからです。そして、「弟子となる」という考えこそ、この箇所の中心にあります。マタイ 28 章 18～20 節には、実はただ一つの命令しかありません。その命令とは、「弟子をつくりなさい」ということです。これは回心を理解する上で非常に重要です。なぜなら、私たちは罪を悔い改めてそこから立ち返り、キリストを信じる信仰によって弟子となるからです。これが回心です。回心なしに、私たちはイエス・キリストの弟子、あるいは従う者となることはできません。この回心がどのように起こるのかについては、後でもう一度戻って考えたいと思えますが、まずは「回心」とは何を意味するのかを見ていきましょう。

「回心する」とはどういう意味か——キリストに従う者になるとはどういうことか——を理解するためには、まず私たちが何から回心するのかを理解しなければなりません。回心とは、変えられることです。向きを変えること、方向転換すること、立ち返ることです。それは、ある方向へ進んでいた者が、その道を離れ、別の方向へ進み始めることなのです。これは、同じように理解できる『悔い改め』という概念とも結びついています。悔い改めは、福音のメッセージにおいて本質的な部分です。使徒パウロは、行く先々で宣べ伝えていた福音について、使徒の働き 26 章

20 節で、『ダマスコにいる人々をはじめエルサレムにいる人々に、またユダヤ地方全体に、さらに異邦人にまで、悔い改めて神に立ち返り、悔い改めにふさわしい行いをするように』と語っています。このようなことを福音の一部として教えるなら、それは行いによる救いを教えていることになる、と考えるクリスチャンたちもいます。しかし、私たちは決してそのようなことを言っているのではありません。私たちが言っているのは、罪から離れて悔い改め、イエス・キリストを通して神に立ち返るとき、人の生き方は変えられるということです。救いを得るために良い行いをするのではありません。その良い行い、すなわち「悔い改めにふさわしい行い」は、救いによって起こる回心の結果として現れてくるのです。私たちは、ますますイエス・キリストに似た者へと変えられていきます。ですから、回心とは、私自身の意志の力による働きではなく、神が悔い改めと信仰を与えてくださり、その結果として生き方が変えられていく神の御業なのです。そのことは、ここマタイ 28 章 18 節からも明らかです。実際に弟子を造り、その人生を変える力がどこにあるのかに注目してください。その力はキリストにあります。すべての権威が与えられているのは、キリストなのです。人を変える力は、私やあなたの内にあるのではありません。回心を起こさせる権威を持っておられるお方に、その力があるのです。弟子を造り、罪の中に死んでいた者を生かし、新しい復活の命を与えるのは、キリストの力であり、キリストの御力なのです。

信仰と、悔い改めを伴う新しい生き方とを切り離そうとする人たちに対して、私はエペソ 2 章を示したいと思います。エペソ 2 章 1～10 節は、救いが回心、すなわち真に変えられた人生をもたらすことを教えています。この箇所は次のように始まります。あなたがたは自分の背きと罪の中に死んでいた者であり、2 かつては、それらの罪の中であってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従って歩んでいました。3 私たちもみな、不従順の子らの中であって、かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。これが、かつての私たちの姿でした。私たちは罪の中に死んでおり、神を喜ばせ、神の栄光を現す生き方をすることのできない者だったのです。しかし、4 節を見てください。4 しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、5 背きの中に死んでいた私たちを、キリストとともに生かしてくださいました。あなたがたが救われたのは恵みによるのです。6 神はまた、キリスト・イエスにあって、私たちをともによみがえらせ、ともに天上に座らせてくださいました。7 それは、キリスト・イエスにあって私たちに与えられた慈愛によって、この限りなく豊かな恵みを、来たるべき世々に示すためでした。8 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。9 行いによるのではありません。だれも誇ることもないためです。神は、ご自身の御心と私たちの内に働かれる御業によって、私たちを生かしてくださいました。死んだ人が自分自身を生き返らせることができないように、私たちもまた、自分の力で霊的に生かされたのではないのです。そして 10 節に来ると、神に反逆し罪の中に死んでいた状態から、イエス・キリストにあって生かされる者へと変えられたことは、私たちの生き方そのものが変えられることを意味しているのがはっきりと分かります。10 節はこう語っています。10 実に、私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださいました。私たちの行い——つまり、私たちが行うこと、考えること、語ること、そのすべて——は、以前は罪によって特徴づけられていました。しかし今では、それらは良い行い、正しい行いとして特徴づけられるようになったのです。言い換えれば、私たちの行いそのものが以前とは変えられたのであり、あるいは、同じ行いであったとしても、その背後にある目的や性質が以前とは変えられたのです。これは非常に重要なことです。なぜなら、エペソ人への手紙がはっきり教えているのは、回心とは、単なる自己改善や、宗教に熱心になることではないということだからです。回心とは、神が悔い改めと信仰を与えてくださり、霊的に死んでいた罪人を、キリストにあって新しいいのちに生かしてくださることなのです。

ですから、ここで「回心 (conversion) 」と言う時、それは真のイエスの弟子たちが、聖霊によって人格と行いを変えられながら、次第にキリストに似た者として生きるようになることを意味しています。そして、回心によって起こる変化の一つは、真に回心した者の内に、「他の人々にもキリストを知ってほしい」という願いが生まれることです。これが、マタイによる福音書 28 章に見られるもう一つの側面です。真の回心は、宣教へとつながっていくのです。宣教 (evangelism) について定義するなら、私はマック・スタイルズの次の言葉がとても良いと思います。「**宣教とは、人々を説得することを目的として福音を教えることである。**」この定義は、宣教が何であり、また何ではないのかを明確に示しています。ある人が、キリスト教を擁護するような形で語っていたとしても、もし神の聖さ、私たちの罪、イエスの死と復活、そして私たちが救い主としてイエスを必要としていることについて実際に語っていないなら、それは本当の意味で宣教がなされたことにはなりません。逆に、誰かとコーヒーを飲みながら座って、「イエスに従うとはどういうことか」や、「なぜイエスが十字架で死なれたのか」について語り合うなら、それは宣教なのです。真の宣教においては、必ずしも救いや回心が実際に起こる必要はありません。そうではなく、福音を聞く人がそれを受け入れるよう願いながら、福音が語られたかどうかの方が大切なのです。ここで注目していただきたいのは、宣教をしている人々は、すでに回心した者たちだということです。もし目標が、聖霊によって変えられた、真に回心した人生を生きる弟子たちを生み出すことであるなら、それは「**宣教とは何か**」、そして「**私たちが語るべきメッセージとは何か**」にも影響を与えます。私たちはすでに、回心をもたらすのは神の力であることを知っています。しかし宣教とは、神が、すでに神を知っている者たち——つまり、すでに弟子である者たち——に託された働きなのです。それは神の力によるものですが、それでもイエスは弟子たちに向かって、「**あなたがたが行きなさい。そして弟子をつくりなさい**」と語られるのです。神は、まだ福音を聞いたことのない人々に福音を知らせるために、さまざまな方法を選ぶことがおできになったはずですが。夢や幻を用いることもできたでしょうし、空に文字を書くことも、一瞬のうちにイエスについての知識や確信を人の心に与えることもできたでしょう。神は、自由に宣教を行う方法を選ぶことがおできになったのです。しかし神は、すでにご自身の弟子となっている者たちを用いて、その福音を他の人々に宣べ伝え、その人々もまた弟子となるようにされる道を選ばれたのです。皆さんの中には、ムスリムの人々が夢を通してキリストに導かれた、という話を聞いたことがある方もいるかもしれません。その中には、確かに真実の証しもあります。しかし、オンラインなどで語られている話の中で、必ずしも明確にされていないことがあります。それは、そのようにしてキリストに導かれた人々が、夢の中で直接福音そのものを聞いているわけではない、ということです。むしろ彼らは、その夢を通して、福音を語ってくれる人のもとへ導かれたり、聖書を渡してくれる人のもとに導かれたり、あるいは以前に聞いていた福音のメッセージが確かなものであると示されたりしているのです。ですから確かに、神は今も超自然的な方法を用いて人々をキリストへ導いておられます。しかしそれでも神は、「**弟子としなさい**」という使命に従う弟子たちを通して、人々に福音を届けようとしておられるのです。ローマ人への手紙 10 章は、神の宣教の計画が、すでに回心した者たちによる福音の宣教であることを明確に示しています。ローマ人への手紙 10 章 14-15 節には、こう書かれています。**しかし、信じたことのない方を、どのようにして呼び求めるのでしょうか。聞いたことのない方を、どのようにして信じるのでしょうか。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか。15 遣わされることがなければ、どのようにして宣べ伝えるのでしょうか。「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は」**と書いてあるようにです。

弟子訓練については、後でもう少し詳しくお話しますが、回心と宣教は、「弟子であること」と深く結びついている、ということ覚えておいてください。目標は、単に人々に「私はキリストを信じます」と告白してもらうことではありません。本当に大切なのは、その人の生き方の中に、実際に回心したことを示す変化が現れてくることなのです。だからこそ、「弟子をつくりなさい」という命令のすぐ後に、次の言葉が続いているのです。**父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。**もし本当に回心しているなら、その人の内には神に従いたいという願いが生まれます。そし

てその願いは、バプテスマを受けることや、信仰の成長のために神の御言葉の教えを喜んで受け入れることとして表れてきます。そして、そのようにして弟子となった人は、今度は自分自身が他の人々に福音を語り、その人たちにも弟子となり、福音によって回心するよう招いていくのです。このように、福音は弟子から弟子へと広がっていきます。ですから、私たちが福音を語る時に求めているのは、単に「人を救われたことにする」ことではなく、本当の意味での回心なのです。教会が、キリストへの真実な回心の必要性を見失ってしまう時、その教会の健全さにはさまざまな危険が生じます。人々が本当に回心しているかを確認する前にバプテスマを授けてしまい、「何人が救われ、何人がバプテスマを受けたか」という数字ばかりが重視されるようになりかねません。また、「まず教会に属してもらえば、そのうち信じるようになる」と考えるようになり、本当に信仰を持っているかを十分に確かめないまま、その人を教会の一員として受け入れてしまうこともあります。さらに、人々にキリストを信じる決心をさせることを、神の御業ではなく自分たちの働きであるかのように考え始めると、群衆を集めることや感情に訴えることばかりを強調するようになってしまう。だからこそ、私たちの教会は、回心は神の御業であることをしっかり認めた上で、真実な宣教に焦点を当て続けなければならないのです。

このことは、この説教の終わりに私たちが自らに問うべき二つの問いへとつながります。第一の問いは、最も重要な問いです。あなたは本当に回心しているのでしょうか。本当にキリストに従っているのでしょうか。ここで私が尋ねているのは、「あなたは教会で育ちましたか」ということではありません。「かつてイエスを救い主として受け入れる祈りをしましたか」ということでもありません。また、「正しい教理を知っていますか」ということでもありません。そうではなく、あなたは自分の罪を悔い改め、イエス・キリストを自分の救い主として信頼しているのでしょうか。そして、その結果として、聖霊があなたの人生に変化をもたらしておられる証しがあるのでしょうか。本当の回心が起こる時、その実は必ず人生の中に現れてくるのです。第二の問いは、あなたは救いのメッセージと、イエスが与えてくださる人生を変える回心について、機会があるごとに他の人々に伝えているのでしょうか、ということです。キリストはご自身の力と権威によって私たちを変えてくださり、今度は私たちに、その人の人生を変える福音を大胆に、そして忠実に宣べ伝えるよう招いておられます。そして主は、そのメッセージに対して人々がどのように応答するかにかかわらず、私たちが神の権威によって福音を語っていること、そして神である聖霊がその働きを力づけてくださることを約束しておられます。その聖霊は、**わたしは世の終わりで、いつもあなたがたとともにいます**、と言っておられるのです。それでは、祈りましょう。

3rd Mark of a Healthy Church – Conversion and Evangelism 健康な教会の3つ目の印(マーク) : 回心と伝道 Matthew 28:18-20

Open your Bibles to Matthew 28:19–20. In addition to Hebrews, this year we are doing a once-a-month series on the nine marks of a healthy church. I have covered these marks in the past, but just to refresh your memory, we have already talked about the first two marks of a healthy church, which are essential to a healthy, functioning, biblical church. Those two marks are expositional preaching and gospel doctrine. Following these two essential marks, there are seven others that will naturally grow out of them, even if they are not currently present. Those marks are: a biblical understanding of conversion and evangelism, a biblical understanding of membership, biblical church discipline, biblical discipleship and growth, biblical church leadership, a biblical understanding and practice of prayer, and a biblical understanding and practice of missions.

Today, in Matthew 28:19–20, we want to look at the third mark of a healthy church, which is a biblical understanding of conversion and evangelism.

Now, you might be wondering why we would have a separate mark of a healthy church, apart from gospel doctrine, that focuses specifically on the idea of conversion and evangelism. Isn't it enough simply to present the gospel correctly? After all, that is what is confirmed in sound doctrine and in the teaching of the Bible. But a church can preach orthodox doctrine and yet confuse people about what it means to truly converted. And it is appropriate to connect conversion with evangelism, but the one doesn't have without the other. **Conversion is what God does in saving sinners, while evangelism is what Christians do in proclaiming the gospel through which God brings conversion.**

Here in [Matthew 28:18-20](#), we see both sides of conversion and evangelism. So, let's read this passage as we begin talking about the importance of both. **¹⁸ And Jesus came and said to them, "All authority in heaven and on earth has been given to me. ¹⁹ Go therefore and make disciples of all nations, baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit, ²⁰ teaching them to observe all that I have commanded you. And behold, I am with you always, to the end of the age."** Now, we normally think of this passage that we know as the Great Commission in terms of evangelism only, but the concept of conversion is here as well, although we will need to understand it fully. When we say conversion, I like this simple definition from 9 Marks. **"Conversion is a U-turn in a person's life. It is turning with one's whole person away from sin and to Christ for salvation."** We see conversion in this passage because **we become disciples through conversion**. And the idea of becoming a disciple is central to this passage. Matthew 28:18–20 contains exactly one command, and that command is to make disciples. That is key to understanding conversion, because we become disciples through repentance (turning away) from sin and faith in Christ. This is conversion. Without conversion, we cannot be disciples or followers of Jesus Christ. I want to come back to this idea of how this conversion takes place, but we need to understand first what it means when we talk about conversion.

To understand what it means to be converted—what it means to become a follower of Christ—we first have to understand what we are converted from. Conversion means to change. It means to turn away, to turn around, to turn back. It is to be going in one direction and then to go in another direction instead. This is connected to another concept we would describe in the same way, repentance. Repentance is an essential part of the gospel message. When the apostle Paul describes his gospel message that he proclaimed everywhere he went, he says in [Acts 26:20](#) that he tells the people **"they**

should repent and turn to God, performing deeds in keeping with their repentance.”

There are some Christians who believe if you teach this as part of the gospel that you are teaching a works based gospel. But that is not what we are saying at all. We are saying that turning away, repenting of sin, and turning to God through Jesus Christ results in a changed life. You are not doing good works to earn salvation. Those good works, or “deeds in keeping with...repentance” come as a result of the conversion that happens because of salvation. We are being changed to become more and more like Jesus Christ. So, conversion is not my work of self-will but God’s work in granting repentance and faith resulting in a changed life. That is clear from verse 18 here in Matthew 28. Notice where the power lies in actually making these disciples, these ones whose lives have been changed. It lies with Christ. **All authority has been given to him!** The power to change does not lie with me or you. The power to change lies with the one who has the authority to cause conversion to happen. It is his power and his strength that makes disciples and makes dead sinners live and new resurrection life to be given.

To those who would try to separate faith in Jesus Christ from a changed life of repentance from sin and following Jesus as Lord, I would point to Ephesians 2.

[Ephesians 2:1-10](#) shows us that salvation results in conversion, a real changed life. This passage begins: [2 And you were dead in the trespasses and sins 2 in which you once walked, following the course\[a\] of this world, following the prince of the power of the air, the spirit that is now at work in the sons of disobedience— 3 among whom we all once lived in the passions of our flesh, carrying out the desires of the flesh and the mind, and were by nature children of wrath, like the rest of mankind.](#) That’s what we were – we were dead in our sins, incapable of living a life that pleases and glorifies God. Then we read verse 4.

[4 But God, being rich in mercy, because of the great love with which he loved us, 5 even when we were dead in our trespasses, made us alive together with Christ—by grace you have been saved— 6 and raised us up with him and seated us with him in the heavenly places in Christ Jesus, 7 so that in the coming ages he might show the immeasurable riches of his grace in kindness toward us in Christ Jesus. 8 For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, 9 not a result of works, so that no one may boast.](#) God made us alive by his own will and his work in our lives. We did nothing to make ourself spiritually live, just like a dead person cannot make himself live again. And then we come to verse 10, where it is clear that this change from being in rebellion to God and dead in sin to alive in Jesus Christ means that our life is different. Verse 10 says, [10 For we are his workmanship, created in Christ Jesus for good works, which God prepared beforehand, that we should walk in them.](#) Our works, which are everything we do, think, say, all of those things that were once characterized sin, are now characterized as good and righteous works. In other words they are different works than those we were doing before or those works we were doing before now have a different purpose or character behind them than before. This is important to recognize because what this passage in Ephesians makes clear is that conversion is not just self-improvement or religious commitment. It is God granting repentance and faith, causing a sinner who was spiritually dead to become spiritually alive in Christ.

So by conversion, we mean that real disciples of Jesus will live progressively more Christlike lives as their character and actions are changed by the Holy Spirit. One of the changes that happens with conversion is that true conversion produces a growing desire

to see others know Christ. That's the other part that we see here in Matthew 28. **True conversion results in evangelism.** To give a definition of evangelism, I like how Mack Stiles defines it, "Evangelism is teaching the gospel with the aim to persuade." This makes clear what evangelism is and isn't. You may have someone arguing for Christianity in an apologetic sort of way, but if they haven't actually talked about the nature of God's holiness, our sin, Jesus death and resurrection and our need of him to be our Savior, then evangelism has not actually been done. On the other hand sitting down to a cup of coffee with someone and having a conversation about what it means to follow Jesus and why he died on the cross is evangelism. No case of true evangelism requires that salvation and conversion actually take place, but that the gospel has been shared with the aim to help the one hearing the gospel accept it. Notice here that those doing the evangelism are already converted. If the goal is making disciples who live truly converted lives changed by the Holy Spirit, then that affects what evangelism is and what our message is. We already know it is God's power that is doing the conversion, but evangelism is a work that he entrusts to those who already know him, in other words who are already disciples. It is God's power, but Jesus then says to the disciples with an implied You go! ...and make disciples. God could have chosen many different ways for the Gospel to be revealed to people who never heard it. He could have used dreams, visions, writing in the sky, just an impression and instant knowledge of Jesus, he could do it however he wanted. But he chose to use those who are already his disciples to proclaim that gospel to others so they can also become disciples. You may have heard stories of Muslims coming to Christ through dreams. Some of those are certainly true accounts, but what may not be always clear in some of what you read online, is that those who come to Christ in that way are not hearing the gospel in that dream. Instead, they are being told something that leads them to someone who shares the gospel with them or gives them a Bible or confirms a gospel message they already heard. So, yes, God is still using supernatural means to bring people to Christ, but not separately from the human disciples obedience to be "make disciples." Romans 10 makes it clear that God's plan for evangelism is the preaching of the gospel by the already converted. Romans 10:14-15 says, ¹⁴ How then will they call on him in whom they have not believed? And how are they to believe in him of whom they have never heard?^[a] And how are they to hear without someone preaching? ¹⁵ And how are they to preach unless they are sent? As it is written, "How beautiful are the feet of those who preach the good news!"

We will be talking about it more when we discuss discipleship, but remember that conversion and evangelism are tightly connected to being a disciple. The goal is not merely to get people to say they believe in Christ, but to actually see evidence of that in their lives that shows they have been converted. This is why followed quickly after the command to make disciples, we read, **baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit,** ²⁰ **teaching them to observe all that I have commanded you.** If a person is truly converted, there will be a desire to be obedient that shows itself in being baptized and receptive to the teaching of God's Word that helps them grow in their faith. Then in a circular sort of way that person, that disciple will in turn go evangelize others by teaching them the gospel and offering them the change to become disciples and be converted by the gospel as well. In every way that we share the gospel we are looking for genuine conversion, not just "getting people saved." For churches that lose sight of the need for authentic conversions to Christ, it opens up many dangers to the health of their church. The emphasis can easily become numbers of

people saved and baptized rather than ensuring that people are genuinely converted before we get them wet in baptism. Membership becomes less important or less emphasized because we want people to belong so they can believe rather than making sure there is genuine faith before recognizing them as part of the church. We can begin to emphasize drawing a crowd and making emotional appeals because we begin to see getting people to make a decision for Christ as our work rather than God's work of conversion. So, for our church, we must maintain a focus on real evangelism that recognizes that work of conversion as a work of God and not us.

That leads to two questions that we should be asking at the end of this sermon. The first is the most important. Have you truly been converted? Are you really following Christ? Notice what I not asking. Did you grow up in church? Did you pray a prayer once accepting Jesus as your Savior? Do you know proper doctrine? Instead, the question is have you repented of your sins and trusted Christ as your Savior? And is there evidence of that by how the Holy Spirit is producing change in your life as the fruit of real conversion taking place? The second question is are you proclaiming that message of salvation and the life changing conversion that Jesus offers by evangelizing others whenever possible. Christ has changed us by his power and authority and now calls us to proclaim that life-changing gospel boldly and faithfully. And he assures us that no matter how people respond to that message, we are proclaiming it by God's authority empowered by the God the Holy Spirit, who is **with us always to the end of the age**, meaning for as long as time itself continues. Let's pray.